



インタビューのビデオ撮影を練習する参加者たち

## みんな頑張れ 佐賀総体

### ケータイ動画ネット発信 市民記者初の練習会

ＩＴを使って情報発信を目指す市民団体「チームＵ」が、７月からの「２００７青春・佐賀総体」を、携帯電話のカメラとインターネットを使って全世界に伝えようと、取材記者チームを発足させた。２３日、佐賀市内で初の練習会を開いた。

「新聞やテレビで紹介しきれない隠れたニュースを掘り起そう」と募集。会社員、農業、小学生、主婦ら記者経験のない約４０人が集まった。

配信するニュースは２種類。生中継映像は、動画撮影機能の付いた携帯電話をビデオカメラ代わりに、ニュースの読み上げや、選手らへのインタビューを行う。一方、写真記事は最大３０文字の文章を添える。いずれもホームページ (<http://u.saga-os.org/>) で見ることが可能。

この日、スタッフが撮影や送信方法を説明。「取材の際は必ず相手から許可をもらうように」と心得も伝えた。同市駅前中央、社交ダンス講師倉町秀男さん（６９）は「思ったより簡単。会場に来られない県外選手や家族らに、現場の感動や雰囲気伝えたい」と目を輝かせていた。

７月２２日に再び練習会を実施。予算は数百万円かかる見込みで、今後、記者と合わせてスポンサーも募る。問い合わせは同チーム（０９５２・２０２０６３）へ。

読 者 報 告

2007年(平成19年)6月24日(日曜日)